

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	14	事業名	多文化共生社会事業 (中事業名) 多文化共生社会事業		担当課		観光商工課		
					予算区分(款-項-目-中事業)		2-1-10-4 多文化共生社会事業		
					決算書ページ		72	一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち				
		政策	2 「やってみたい」が実現できる仕組みづくり	1	住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり				
		施策	(3) 誰もが活躍できる地域づくり	(1)	くらしを支える生活基盤の充実				
	その他	開始年度	2021年						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等							
		関連計画	第2次長久手市多文化共生推進プラン						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット(詳細はⅡへ)		アウトカム(詳細はⅢへ)			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		<b>【対象】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他 対象の数： 約60,000人 <b>【事業内容】</b> 外国人市民のニーズや国際情勢、本市における多文化共生の実態を把握し、外国人市民が地域の一員として活躍・生活することができるよう、多文化共生の地域づくりや国際交流意識の醸成に取り組めます。		<b>【アクションプラン指標】</b> 多文化共生促進事業数 <b>【その他の指標】</b>		国際交流や多文化共生について、関心や知識を深める  (成果指標名)  国際交流協会事業参加者総数		国際交流や多文化共生への理解が生まれ、日本人・外国人双方にとって住みよいまちになる	
				大 事 業 共 通					

II活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度		
活動指標	1	【アクションプラン指標】 多文化共生促進事業数	回	基準値	5	目標値	7	7	8	8	9	
				目標値	9	実績	7					
	2			基準値		目標値						
				目標値		実績						
	3			基準値		目標値						
				目標値		実績						
	4			基準値		目標値						
				目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景	近年の在住外国人数の増加により多文化共生の必要性が高まり、令和2年度に長久手市多文化共生推進プランを策定した。その後、外国人市民数が増加している中で、外国人市民への支援ニーズが多岐に渡っていることから、令和5年度に第2次長久手市多文化共生推進プランを策定し、多文化共生推進事業に取り組んでいる。									
		各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
		R6	多文化共生促進事業として、多文化共生推進会議（有識者会議、2回開催、延べ10人出席）、長久手市多文化共生推進連絡会議（庁内会議・やさしい日本語講座1回、20人出席）、児童生徒日本語教育支援事業の実施、プレスクールの試験的实施を行った。 新規採用職員向けやさしい日本語講座（1回開催、延べ20人出席）、また、名古屋外国語大学の留学生向け授業において「外国人にも分かりやすい情報の伝え方を考える」をテーマに情報発信方法を考えた。			R7						
		R8				R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		国際交流協会事業参加者総数		人	R4 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R7 年度		R8 年度	
					10,040		10,767		9,922		10,100		10,300	
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		D	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						将来、日本人・外国人双方にとって住みよいまちになることを目指し、国際交流協会の多文化共生推進事業参加者数100名及び他事業100名の200名ずつ各年度増加するよう設定。					
	評価の理由、分析													
	R5年度まで毎週実施していた「NIA集いの広場」の開催が月2回程度の開催となり、ボランティア及び参加者数が減少している。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		国際交流協会への支援を継続すると共に市も多文化共生社会事業を推進することで、第2次長久手市多文化共生推進プランの事業を引き続き展開する。									
		改善ポイント												
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度				
1	多文化共生推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	外国人市民数が増加している中、外国人市民への支援ニーズが多岐に渡っている。第2次長久手市多文化共生推進プランのアクションプランで今後の事業方針を定めていることから、この方針に沿った事業を実施する。											
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3年間の推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算		
			C. 縮小 D. 廃止			2,945	2,803	108	93	83		
		理由			特定財源	合計額	0	0	0	0	0	
		有識者会議の報償費が主となっており、本市の多文化共生推進のためには、本会議の開催が必要であるため。				(内 国費)	0	0	0	0	0	
						(内 県費)	0	0	0	0	0	
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0	
						(内 その他)	0	0	0	0	0	
		一般財源				2,945	2,803	108	93	83		
		積算額			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞							
		令和7年度と同水準			多文化共生推進協議会報償費 73千円（93千円）							
					消耗品費 10千円（10千円）							
					食糧費 0千円（5千円）							